

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
発行人 長崎 哲夫
編集主筆 渡邊 義彦
印刷所 株式会社きかんし



大泉ベテル教会 (東京教区北支区)

「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたら……。しかし今は、それがお前には見えない。」
(ルカによる福音書 19章 42節)

平和メッセージ

平和への道

《ルカによる福音書
19章41～44節》



伊藤瑞男

きのこ雲の下で

1945年8月6日午前8時15分、広島市中心部の上空600メートルで原子爆弾が炸裂しました。私はそのとき、爆心地から10キロ離れた、宮島(厳島)の小学校の教室にいて皆と一緒に自習をしていました。

見合せて、何だろうと言いつつ、8時15分、広島市中心部の上空600メートルで原子爆弾が炸裂しました。私はそのとき、爆心地から10キロ離れた、宮島(厳島)の小学校の教室にいて皆と一緒に自習をしていました。その時、皆は、近くに爆弾が落ちたと思い、運動場に立って、周囲を見回していました。

広島市にいたと見られる約35万人の内、約12万人がこの日から12月までの間に死んだと推定されています。その後、広島市で成長する中で、日本人はなぜこのような愚かな戦争をして国を滅ぼすまでになったのか、という疑問と、原爆のような残酷な大量殺戮兵器は二度と使われてはならない、という思いが、私の中で定着していきました。

平和への道が見えないゆえに

主イエスは、最後のエルサレム入城の際に、オリブ山から都を見下ろしながら、涙を流され、言われました。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたら……。しかし今は、それがお前には見えない。やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、……。」

エルサレムの人々は、平和への道をわきまえていない。だから戦争を招きよせてしまう。彼らは、数十年後ローマに対する無謀な戦争に突入してしまい、ローマの大軍が都を包囲し、苦しい籠城戦になる。そして、城壁は破られ、町は徹底的な破壊に遭う。多くの人が餓死し、殺され、子どもたちまでむごい仕方で殺される。そういう光景がイエス様には見えていたのです。このような光景は、第2次世界大戦において極限に達したことを私たちは知っています。

神の訪れの時を知る

主は、エルサレムのユダヤ人たちが平和への道をわきまえていなかったのは、「神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである」と言われました。「神の訪れてくださる時」とはどういう時でしょう。御子イエスが来られる時で

す。それは、主イエスが口バに乗ってエルサレムに入城された「この日」です。口バに乗られたのは、ゼカリヤ書9章の預言に従って、ご自身が平和の王であることを示そうとされたからです。「平和への道」と訳されて

共に祈り、支えよう！
Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力をお願いします。

記
目標額 10億円(国内のみ)
期間 2011年7月1日～2015年3月31日
振替番号 00110-6-639331
加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31
2013年2月
教団救援対策本部長 石橋秀雄

さい。…家にある物を何か取り出そうとして中に入っではならない。畑にいる者は、上着を取りに帰ってはならない」と言われるのです(マルコ13・14・16)。

これは、戦争の被害を最も受ける住民に対する丁寧な警告です。そこで大切なことは、生きのびることだと言われるのです。

第二に、主イエスは政治の支配者、責任者に対して警告を告げておられるとみてよいでしょう。彼らの務めはこのような戦争の悲劇を避けることです。

「また、どんな王でも、ほかの王と戦いに行こうとするときは、一万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことが出来るかどうか、まず腰をすえて考えてみないだろうか。もしできないと分かれば、敵がまだ遠方にいる間に使節を送って、和を求めらるだろう」(ルカ14・31・32)。

これは、王たちの心得ておくべき常識です。しかし、ユダヤの指導者たちは、ローマの大軍に対して和を求めず、立ち向かうのです。愚かな悲劇的な戦いとなります。

・25)というお言葉です。これは、ローマ帝国への税金を払うべきかどうか、という質問に対する答えでしたが、税は皇帝の権限に属するものだと言われたのです。しかし、ユダヤの国においては神がすべてを支配するべきで、皇帝の権威など認めないというユダヤ人たちは、この主の言葉を受け付けませんでした。

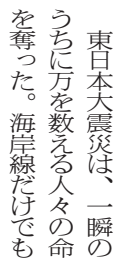
しかし、これが新しい時代の、平和への重要な道標となるのです。

政治の支配者に神の領域を侵せず、また神の権威の下にこの世の事柄すべてを服させるのではない道です。主ご自身が体現されたこの道に、私たちも歩みたいと思います。

(第38総会期教団総会副議長、大泉ベテル教会牧師)



▼この1月、成人の日の連休を挟んで東京も大雪に見舞われた。雪の深い地方の教会の皆さんからは、これでも大雪か、と笑われてしまうかもしれない。だが雪に無防備な町では5センチ、10センチの雪で交通も、人々の歩行も麻痺してしまう。振袖姿のお嬢さんが坂で転んでしまうかわいそうな姿もあった▼仕えている教会には幼稚園がある。雪が降った翌日、園庭は真っ白。子どもたちがじっとしているわけがない。たいていの東京の雪ならば、朝一番に園庭に出た子どもたちが一遊びすると、あっという間に雪遊びだか、泥遊びだかわからなくなってしまう。ところが、今度の雪は長持ちした。いつまでも泥まみれにならない。水を含んで温まってパックした重い雪だった。気温が低い日も続いた。建物の北側の雪もなかなか消えなかった、今度の雪は白さを長く保った▼主は、あなたがたの罪が緋のようであつても雪のように白くすることができると言ってくださった。これを信ずるところに幸い、平安がある。なお緋のごとくに染まってしまうわたしであり、世界である▼キリストの十字架を仰ぐこと、十字架のキリストを救い主と信じて、世界の中で教会にだけできることだ。受難節を迎える。悔い改めの良きときを過ごし、春の復活日に向け備えたい。



生まれた。このように、諸宗教者と医療者・学者等との協働が、被災現場で始まった。これは、過去断続的に起こってきた事柄の発展的な継続でもあった。古くからは教師の活動があった『ひとやの友』最

起きさせる「福音宣教」の新たな機会も拓かれた。それぞれの宗教者は、それぞれの立つ伝統に誠実でなければ、絶望に瀕した人々を救うことはできない。他方で、他者を尊敬しない者は尊敬されず、尊敬されない者が人を救うことはできない。

自らの宗教の確実さを信じ語りつつ、他者の宗教を尊敬する。そうした宗教者の協働が、困難に陥った人々を接点として、今次の災害下、成立した。そしてこの協働に、行政や医療などの他の分野の働きの連携の可能性が拓けた。我々

の研修は多く好意的に報道された、その成果を踏まえ、て今春に再度の研修を行う。その内容は分析され、過去の蓄積へと連結される。

今後は医療等の他領域と連携し、長く続く支援の基盤を整備することを目指している。遥かに目指す道程に、広いご理解とご支援を賜れば幸いである（更に詳しくは、「東北大学実践宗教学寄附講座」でインターネット検索ください）。

（川上直哉報／仙台市民教会牧師、東北大学実践宗教学寄附講座運営委員会委員長）

以下、その経緯・意義・
目標を簡潔に記します。

事と考えられます。

北大に「実践宗教学寄附講座」を開設しました。これは、1922年に富士見町教会信徒によって「キリスト教の学術的研究」を目的とした寄附講座が京都大学に開設され現在に至っていることにも比すべき出来事である。

この大惨事に、宗教者が宗教の別を越えて協働した。情報を共有し、共に被災者を見舞い、電話相談を開設して心のケアに当たった。支援を自らの勢力拡大の手立てとせず、しかし、宗教者にこそ可能な支援を

東北へハブは、教団救援対策本部を中心とした献金をもつて、東日本大震災への対応として、地元の諸宗教者・医療者と協働し、東500キロに及ぶ地域が津波の被害を受け、更に原子力発電所の爆発事故が重なった。まさに未曾有の事態である。

新号を参照されたい。病院
チャプレンの働きもあつ
た。こうした過去の蓄積と
接続し、今次新しく生まれ
た協働のための「人づくり」

はこれを神の恵みと感謝している。

被災地は、若者が土地を離れて行くことによって、急激な高齢化が進んでい

「実践教学寄附講座」であった。

「仕組み作り」をしなけれ
ばならない。そうしなけれ
ば、これから数十年続く被
災地での支援活動を、教会
が支えることはできない。

この問題意識が広く共有
され、2012年4月に東
北大学に誕生したのが、「寒

る。今回拓きつつある広範な連帯の可能性は、今後の被災地に予想される喫緊の必要に応えるものとなるだろう。その連帯の基盤を整備する点に、寄附講座の意義がある。

備する点に、寄附講座の意義がある。

共に歩み続ける、
イエス・キリストに従って

イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。

(2015 年 3 月までの総会期標語聖句)

NCCについて基本情報から記す。

字数に限りがあり海外諸教会との協働について今回は記せないが今年もドイツ、香港、韓国等で会議が予定されており、予算を超えない範囲で参加しエキュメニカル活動の一端を担うつもりである。

加盟教団は日本基督教団、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、在日大韓基督教教会。加盟団体は日本YMCA同盟、日本YWCA、

を超えない条件で委員会として加盟団体以外の方にも推薦委員を依頼することが出来るため、加盟していない教派や団体の方が委員長として名を連ねることもある。信頼を前提とした協議会の特徴であり、委嘱するのは財務委員長と会計監査委員だけである。

今総会期より総幹事は委任契約となった。社会保険料等NCCが負担して雇用する正規職員は総務1名のみ。

NCCは教育部、文書事業部、宗教研究所がそれぞれの

与えられた信仰によってのみ果たし得る。

東日本大震災発生後には、海外諸教会の要望もあり震災対策室を立ち上げることとなった。昨年4月より室長は小橋議長、補佐に外崎孝牧師、運営委員会座長は継続して大村栄牧師、今年5月までマツキントッシュ氏が働く。被災地の要望を受け運営委員会を経て海外へ献金依頼を発信し続けている。感謝すべきことに多くの希望ある応答をいただいていた。A.C.T.(Action

1月20日(日)、カトリック本郷教会で行われた、毎年恒例の「キリスト教一致祈禱週間・東京集会」(NCC・カトリック中央協議会主催)。主司式:岡田武夫(カトリック東京大司教)、説教:小橋孝一(日本キリスト教協議会議長)

日本キリスト教婦人矯風会、日本キリスト者医科連盟、日本聖書協会、日本キリスト教文化協会、キリスト教保育連盟、キリスト教視聴覚センター。他准加盟教団・団体が17で構成されている。WCCは「教会」協議会だがNCCは「キリスト教」協議会として団体も共に活動する。加盟教派・団体の分担金と賛同会費が支える。

小橋孝一議長の他、副議長・書記は教派・団体から1名ずつ推薦され総会の承認を経て5名の役員会を構成する。15の委員会の委員は派遣制度として委員を派遣したい団体が人員を申し出、常議員会で承認されると委員となる。

働きを担っており財政難はとも同様であるが使命を果たしている。NCC事務局は他に会計パート1名週3日、会計補助1名週2日、広報1名1.5日、1名のボランティアで運営している。もはや一人も欠くことは出来ない。各委員会に担当職員はおらず、一律年間7万3000円を分配して活動する。委員会は派遣母体や委員本人が時も力も財も捧げている状況である。

声明等を出すのは委員長名によるものが多く、議長・総幹事名の入ったNCCのレターヘッド使用を認めている。各委員会は会計も含めて自立し責任を持つ。

教会の主任牧師の時、正直なところNCCは1月18日〜25日に毎年WCCが呼びかけと世界中で覚えるカトリックとの一致祈禱集会位しか身近に感じられなかった。

福音伝道と社会運動の関わりについて様々な意見がある。活動は全て私たちが皆罪びとである自覚と、十字架の

by Churches Together International)との協力関係にあるJWS (Church World Service) とも協働し災害という痛みを通して世界と共に働く恵みを与えられている。主の復活の希望があるゆえの広がりである。

12月初旬に「原子力に関する宗教者国際会議」を郡山・会津若松で開催し国内外合わせて11地域87名の参加を与えられ「福島信仰宣言」と政府等への「嘆願書」を発表した。これは元々「9条アジア宗教者会議」というカトリック、仏教等諸宗教者との集まりを基に国際会議準備会を作り開催したもので、エキメニカルの一つの形でもある。現地での声を聞いた参加者は自国で更に被災地への祈りと支援が必要であることを伝えると言った。

この会議開催前の事前現場研修において、東北へルプ、会津放射能センターを置く若松栄町教会の協力をいただいたことを感謝する。

総会テーマの「共に歩み続ける」には主と共に、人と共にという二つの意味が込められている。教会が自己実現の場ではないように、人の思いではなく神の思いがあらわれるよう祈りつつ使命を果たしていきたいと願う。

オフィスのランチタイムは特に笑い声が絶えない。スタッフの信仰による明るさが響いている。財政が豊かであった頃に比べれば疲弊し人によつては「あの頃のNCCはよかった」とつぶやく。それぞれの思うNCCの姿があるだろう。

時を支配なさる神は、NCCにおいてもその時々に応じて形は変われど必要な働きをさせて下さるであろう。どんな困難な世にも幼子は与え続けられていくように、主の導きを受け洗礼という新しいいのちを輝かせるクリスチャン・ワーカーが働きを担う日が来るのを祈る。

ついで来なさいと招く主に委ねていこう。

韓国・セムナン教会、長神大を訪問

第6回宣教委員会

第37総会期第6回宣教委員会は10月1～3日の日程で開催された。今回は、韓国における最初の組織教会とされるセムナン教会と長老会神学大学を会場に行われた。

初日、セムナン教会の資料館を見学し、主任牧師のイ・スヨン牧師と懇談の時間を持った。当教会は、12名の牧師たちを中心に主日は1200名の礼拝が5回、他にベトナム人礼拝、中国人礼拝、フランス語礼拝、英語礼拝、日本語礼拝が守られていた。

2日目、長老会神学大学へと会場を移し、ハン・ゲギル教授(宣教学)の講義を聴講。ハン教授は、主イエスの宣教の出発点を「エ



上:セムナン教会主任牧師(中央)と
下:長神大新総長(右から5人目)と

宣教師の働きを祈りつつ

第5回宣教師人事委員会

第37総会期第5回宣教師人事委員会は12月12日教団会議室において開催された。

当委員会は日本基督教団の教会及び関係団体(キリスト教主義学校を含む)に宣教師として赴任する牧師

及び英語教師などの資格に
関して取り扱う委員会である。
委員会の度に、入国審査
する書類の束が用意され
る。そこには、加藤誠幹事
や高田輝樹職員、杉山真里
菜職員によって周到に準備

された英文と日本語訳の書
類がある。
この委員会に提出される
書類の一つは、三氏の
努力の賜物であることを認
識させられる。
本国の教団(宣教師協約を
締結した諸外国の教団)と
の連絡、交渉、本人との面
接、希望条件、日本滞在中
の生活及び霊的ケアを含め
て、彼らは入国する宣教師
と関わっている。
当委員会は、三氏の報告
を聞くことで、宣教師の信

仰と人柄を知り、日本にお
ける働きが祝されるように
祈りつつ、承認する。
教団に係わる宣教師には
おおよそ三つの特徴がある
ように思う。第一は、日本
の教会の現場に働く欧米の
宣教師が少なくなったこと
と。代わりに韓国からの宣
教師が増えたこと。少子高
齢化の日本の教会では、無
牧師の教会が増え、招聘で
きなくなった教会に韓国か
らの宣教師が主任牧師とし
て招かれる傾向が多くなっ

た。
第二に、教会の現場では
ないが、関係団体・学校の
教師として宣教師身分で入
国する人々。当然信仰者
であるが、彼らを迎える当
該大学及び高校での待遇と
日本での生活のケア。教団
はこれまで責任を負うのか
という問題がある。これも
宣教師と職員、三氏の働
きに負っている。
第三は教団から諸外国に
宣教師として派遣される人
たち。これはおもに、在外
日本人の伝道と牧会のため
の働きで、これは世界宣教
委員会の管轄となる。
宣教師人事委員会は、海
外からの宣教師の就任任
と、ビザ取得のための身元
保証の是非につき判断する
機関であるが、他の宣教師
関係の委員会との連携がも
つと必要であるように思
う。

今回の委員会での協議事
項は①北米宣教師に関する
件、②東京教区で働く宣教
師のビザ取得の身分保証に
関する件、③神奈川教区海
員宣教師協会の要請に基づ
いて後任宣教師を承認。
以上である。

(潮義男報)

2・11メッセージ

2・11は、国民の祝日に関する法律で『建国記念の日』とし、「建国を偲び、国を愛する心を養う」と規定されています。この日は神話上の人物である神武天皇が紀元前660年2月11日に橿原に宮を建て即位した日とされる日で、1874年以来「紀元節」として守られてきたものです。それを、1967年に『建国記念の日』とし、祝日とされました。

けれども、所詮神話です。紀元前660年2月11日が建国の日と考

えらる人は、少なくとも日本の古代史の専門家の中にはいないでしょう。紀元前660年2月11日に、奈良の橿原に、強力な統一国家が建国され、天皇という祭祀と政治を司る大王が存在したと考えることは、通常できないからです。また、統一国家の形成や天皇制の確立、天皇という名称の使用は、紀元645年(一曰の変)から712年

神話がわたしたちの日常生活の中で語られ
用いられようとする時には、何らかの意図
が存在してしまうということです。その意
図に賛同できるならば、その人にとってそ
の意図は感謝と喜びとなるでしょう。しか
し、その意図に違和感を感じるならば、そ
の国は、神武天皇によって建国された

わたしたちは2・11を迎えるに当
たって、教会の重要な課題、「信仰の自由」を
高らかに宣言いたします。また、日本国憲
法に保障された「宗教の自由」が堅持され
るよう祈り求めます。
各地の集会の上に、主なる神の祝福を祈
ります。

(社会委員会 金十達雄)



周到に準備された書類を確認して協議

消息

多田一三氏(隠退教師)



12年9月5日逝去、76歳。
大阪府に生まれる。'66年関
西学院大学大学院修了、'63
年中津教会に赴任、'93年よ
り12年まで九州キリスト教
社会福祉事業団に勤め、隠
退した。遺族は妻・多田玲
子さん。

石川直一氏(隠退教師)
12年11月27日逝去、88歳。
静岡県に生まれる。'57年農
村伝道神学校を卒業、'58年
興部教会に赴任、下川教会、
藤崎教会を経て、'99年まで
沼津岳南教会を牧会し、隠
退した。遺族は妻・石川美
佐子さん。

渡辺健一、下田洋一、
山口紀子
(2012・11・25受按)

小林則義、許 昌範、
望月奈津子
(2012・12・1受按)

小川洋二、川村尚弘、
久保哲哉、松谷祐二、
吉岡恵生、岡田真希、
中本 純、森分 望
(2012・12・3受按)

小松愛子、小松博士、
佐藤秀吉
(2012・12・4受按)

倉形真弓、吉武真理、
小林 護、黒田嗣郎、
小林 護、黒田嗣郎、

事務局報

正教師登録

須賀 工
(2012・12・9受按)

上田容功、大橋 章
(2012・12・11受按)

丸の内 辞(担)三枝育代
〃 辞(担)三枝道也
〃 オーションサイド・フー
スト合同メソジスト教会
辞(外)小海 光
能代 就(主)瀬尾弘志
沼津大岡 就(主)水田雅敏
宮崎清水町就(担)三枝道也
〃 就(担)三枝育代
香川直島辞(兼主)小国清子
〃 就(兼主)田中暉彦
〃 就(兼担)小国清子
宇和島中町就(担)山崎恵子
久宝 就(担)水谷 憲
勝山 就(代)延藤好英
久世 就(代)延藤好英
福岡杜家町就(代)大島一利
三里塚 就(代)岸 憲秀
都農 就(代)三枝道也
新生 就(代)長崎哲夫
〃 就(主)土橋 晃
境南 辞(主)千原 創
〃 辞(担)貴田直樹
〃 就(主)貴田直樹
〃 就(兼担)千原 創
日本基督教団 辞(教)内藤留幸
教師休職 小国清子
教会所在地名変更 錦ヶ丘 熊本市東区錦ヶ丘
32-9
伝道所廃止 小名浜
伝道所通信先設定 浪岡伝道所 五所川原市大
字姥范字船橋52-214
五所川原教会
関係団体承認 旭福社
キリスト教教育主事異動 高槻
(辞)中垣絵里子

(教団総会議長 石橋秀雄)